

薬科大学、薬学部（以下、薬系大学）の定員数が初めて減少した。2000年度頃から続いた既設校での定員枠の拡大に加え、03年度から始まった薬系大学新設ラッシュにより、毎年、薬学生の定員は増加しつづけてきた。しかし今年度、08年度からの受験・入学者の減少傾向を受け、初めて複数校が同時に定員削減に踏み切った。これにより、総定員が減少したにもかかわらず全体の定員充足率は前年度に続き1.0を下回り“定員割れ”となった。総定員数が1万3344人（150人減）に対し、東大を除く総入学者数は1万2867人。従って定員充足率は昨年の0.98をさらに下回る0.97となった（表）

全国の薬系大学は、新設ラッシュが始まる直前の02年度までは国公立17校、私立29校。その定員数も定員枠が安定していた99年度のころは全46校、合わせて8090人程度であった。しかし、既設校の定員枠拡大が続き、その後の新設ラッシュにより、08年度には最大の74校で1万3494人にまで拡大した。

定員割れ続く私立薬系大学 かつての新設ラッシュ一転

しかし、08年以降、受験者数の伸び悩みと入学者数の減少傾向が続く。今年度から青森大、奥羽大、徳島文理大、同香川薬学部の4校において、それぞれ30、60、30、30人の定員削減が行われた。その結果、総定員数は前年度より150人少ない、1万3344人と初めて減少に転じた。

また、教養学部入学となる東大薬学部を除き、今年度の総定員数1万3264人に対し入学者数は1万2867人で、定員充足率は0.97、昨年度の0.98をさらに下回った。

充足率が1.0を割ったのは前年度より1校多い23校に達した。0.97以上は誤差範囲とすれば、19校が実質的な定員割れに至ったといえよう。

大きく定員割れしたのは、東北地方と7校が収集する“激戦区”千葉県、中・四国地方で目立つ。その多くが前年度と同様に新設校であった。総体的に受験者数の減少も続いており、来年度も定員を削減する薬系大学が現れる可能性もある。

病院勤務の薬剤師による職能集団「日本病院薬剤師会」では、2006年度より「がん専門薬剤師」制度の立ち上げを皮切りに、感染制御、精神科、さらに今年度に入ってから「妊婦・授乳婦専門薬剤師」「H I V感染症専門薬剤師」が本格的に動き出した。また、それぞれの“専門”の前段階となる「認定薬剤師」制度の認定要件、研修施設も認定され、この夏から実務研修もスタートする。

H I V感染症専門薬剤師については5月1日現在、これまでの学会発表や実務経験など実績を背景に、過渡的措置によりH I V感染症専門薬剤師が13人認定されている。同様に妊婦・授乳婦専門薬剤師も同日付で、過渡的措置により5人が認定されている。今後、専門学会所属、一定の発表論文数、業務実績、指定の研修施設での実務研修などを修め、試験をクリアすれば“認定薬剤師”となることができる。次のステップ「専門薬剤師」への道も開ける。

このほかにも新たな専門薬剤師・認定薬剤師制度ができつつある。直近では07年3月、日本緩和医療薬学会が設立され、10年1月から「緩和薬物療法認定薬剤師」の認定試験を開始する。

政府方針として在宅医療が推進され、保険薬局においても適切な緩和療法への対応が望

ニュースの“窓”

まれている。そこで薬局・病院薬剤部の別なく緩和療法に対する高い専門性が望まれている。当面は“認定薬剤師”だが、次の段階としては緩和薬物療法の“専門薬剤師”が模索される。

さらに今後、日本プライマリ・ケア学会による「プライマリ・ケア認定薬剤師」制度の創設が模索されている。今年5月末に京都で、総会を開催し、キックオフ・シンポジウムが開催されるはずだったが、新型インフルエンザの影響により10月に延期された。地域医療の担い手の一人として、薬剤師の活躍が望まれている現れといえよう。

一方、病院の医師不足という社会問題も追い風となって、病院薬剤師、看護師にこれまでの枠にとらわれない新たな業務を任せようという、スキルミックス（多職種協働）推進の機運が高まっている。

2009年度国公立薬系大学 入学状況一覧

大学名	総定員数	09年度入学者	対定員比	(学科別定員 再掲)			
				6年制 (入学)	4年制 (入学)	4年制 (入学)	4年制 (入学)
北海道大学* (一括)	80	83	1.04	30		50	
北海道医療大学	150	170	1.13	150			
北海道薬科大学	210	243	1.16	210			
青森大学	90	61	0.68	90			
岩手医科大学	160	172	1.08	160			
東北大* (一括)	80	82	1.03	20		60	
東北薬科大学*	380	385	1.01	330	348	50	37
奥羽大学	140	93	0.66	200			
いわき明星大学	150	73	0.49	150			
国際医療福祉大学	180	118	0.66	180			
高崎健康福祉大学	90	94	1.04	90			
城西大学*	300	369	1.23	250	333	50	36
日本薬科大学	320	288	0.90	320			
千葉大学* (一括)	80	81	1.01	40		40	
東邦大学	220	252	1.15	220			
東京理科大学*	180	195	1.08	80	75	100	120
日本大学	240	269	1.12	240			
千葉科学大学*	260	148	0.57	180	116	40+40	32(11+21)
城西国際大学	180	95	0.53	180			
帝京平成大学	240	235	0.98	240			
東京大学* (一括)	80	(※)		8		72	
東京薬科大学	420	453	1.08	420			
明治薬科大学*	360	403	1.12	300	335	60	68
昭和大学	200	209	1.05	200			
昭和薬科大学	240	258	1.08	240			
星薬科大学*	280	308	1.10	260	267	20	41
慶應義塾大学*	210	209	0.99	180	176	30	33
北里大学* (一括)	280	288	1.03	260		20	
武蔵野大学	145	150	1.03	145			
帝京大学	320	324	1.01	320			
横浜薬科大学	360	363	1.01	360			
新潟薬科大学	180	210	1.17	180			
富山大学*	105	109	1.04	55	55	50	54
金沢大学* (一括)	75	76	1.01	35		40	
北陸大学	306	146	0.48	306			
静岡県立大学* (一括)	120	129	1.08	80		40	
名古屋市立大学*	100	113	1.13	60	66	40	47
名城大学	250	288	1.15	250			
愛知学院大学	150	151	1.01	150			
金城学院大学	150	118	0.79	150			
岐阜薬科大学*	120	151	1.26	80	104	40	47
鈴鹿医療科学大学	100	115	1.15	100			
京都大学*	80	83	1.04	30	31	50	52
京都薬科大学	360	406	1.13	360			
同志社女子大学	120	113	0.94	120			
立命館大学	100	99	0.99	100			
大阪大学*	80	85	1.06	25	25	55	60
大阪薬科大学* (一括)	300	343	1.14	270		30	
近畿大学*	180	221	1.23	150	177	30	44
摂南大学	220	228	1.04	220			
大阪大谷大学	140	151	1.08	140			
神戸薬科大学	270	277	1.03	270			
武庫川女子大学*	250	243	0.97	210	203	40	40
神戸学院大学	250	251	1.00	250			
兵庫医療大学	150	150	1.00	150			
姫路獨協大学	120	88	0.73	120			
岡山大学*	80	81	1.01	40	40	40	41
広島大学*	60	62	1.03	38	39	22	23
広島国際大学	160	180	1.13	160			
安田女子大学	130	66	0.51	130			
福山大学	200	107	0.54	200			
就実大学	150	73	0.49	150			
徳島大学* (一括)	80	84	1.05	40		40	
徳島文理大学	200	140	0.70	200			
徳島文理・香川薬学部*	120	110	0.92	110	103	10	7
松山大学	160	90	0.56	160			
九州大学* (一括)	80	86	1.08	30		50	
福岡大学	230	237	1.03	230			
第一薬科大学	173	188	1.09	173			
長崎大学*	80	82	1.03	40	40	40	42
長崎国際大学	120	85	0.71	120			
熊本大学* (一括)	90	93	1.03	55		35	
九州保健福祉大学	210	152	0.72	180	133	30	19
崇城大学	120	136	1.13	120			
	13,344	12,867	0.97	12,090		1324	

*＝4年制併設、(一括)＝6年制と4年制を一括募集
注)北里大・大阪薬大の定員→入学者数は一括入試のため4年制を含む
(※)東京大学*(教養学部として入学、3年次に各学部に進学のため不明)。正式に学科が決まるのは4年進級時になる
静岡県立大学:一括入試、3年次後期に薬学科(6年制、定員80人)と薬科学科(4年制、定員40人)への配属を決定する
金沢大学*(一括入試、3年次後期で選択)

絶対的な法による業務の壁はあるが、グレーゾーンがあるのも事実。患者のために薬剤師ができること。チーム医療の一員として薬剤師に期待されること。これが合致したところに、新たな業務・役割が発生してくるであろう。

現在、一部大学でバイタルサインのチェックなど、先進的な教育が推進されているが、現場でもスキルミックスの多様な事例が挙がっている。

スキルミックス推進を掲げる日本病院薬剤師会会長の堀内龍也氏は「最終的には『薬物療法は全て薬剤師の責任』というところを目指している」と述べている。決して“小型医師”を目指すのではない。薬剤師としての専門性を高める中で業務の幅が広がっていくに過ぎない。他職種、患者は、薬剤師ならではの専門性を要求している。